
2 7 0 分

駟牙 蓮

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

270分

【Nコード】

N9183Y

【作者名】

駆牙 蓮

【あらすじ】

オペ室看護師である成海大和は、親友であり同期の看護師の進藤^{ナルウミヤマト}
^{ウマサキ}雅樹に報われない恋をしている。長年の友情を壊したくないが、苦しい想いは募っていく――。

「—— 始業時間一分前」

寝癖もろくに直さないままいつも通り青い帽子を被り、出勤簿のソフトの入ったパソコンをクリックする。そんな俺の横で笑いながら画面を覗き込むのは、同期の進藤雅樹。通称マサ。高い身長と、それを持て余した様な猫背が印象的だ。

「・・・間に合えば何時でも一緒だったの」

俺は成海大和。通称ナル。マサとは同期の看護師だ。看護師と言っても病棟ではなく手術室で働いている。

「ナルんところは今日何のオペ？」

「スパイン」

「・・・ダリイな。頑張れよ」

「おー」

マサは大学時代からの付き合いで、かれこれ七年目だったりする。そして三年越しの俺の不毛な片想い。

女ばかりの看護学部だったから、マサと仲良くなるのに時間はかからなかった。一緒にバスケット入って、毎日バカやって。彼女いる時もマサという方が楽しくて、それが原因で喧嘩したりフラれたりもした。だから誰と付き合ってもいつも長続きしない。

それに比べて、マサはもう彼女と五年も続いている。二つ下のバスケット部のマネージャーだ。俺の不毛な恋は、今年同じ職場にマサの彼女が就職してきた時点で更にどん底だった。

「・・・移動希望出そうかな」

「何か言ったか？」

患者の入室を入口で待ちながら呟いた独り言が、同じくすぐ近くで待機していたマサに聞かれていた様だ。

「何でもねーよ」

毎日毎日、腕の悪い外科医に偉そうに怒鳴られたり、更年期の口煩い上司に嫌味を並べられたり。——いい事ねーよなあ。

「あ、そうだ。今日金曜だろ。明日勤務じゃねーよな。飲みに行かね？」

「・・・お前のカノジヨに怒られねえの？」

「そう言つて、ナル全然遊んでくれなくなつただろ。今日はバスケット部に顔出して、そのまま飲むぞ。な、決まり」

目を細めて笑うと、マサはそのまま入室してきた患者を連れて担当の手術室に向かって行つた。

——いい事も、あるもんだな。

この気持ちが不毛な物である事には変わらないのだが。それでも一番大事な同性の友人と思つてもらえるだけで。それだけで俺は十分なんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9183y/>

270分

2011年11月27日15時49分発行